

# 水害の防災教育に関する支援拡大について

---

平成30年6月8日

水管理・国土保全局 防災課

# 緊急行動計画への防災教育の位置付け

大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について  
 ～社会意識の変革による「水防災意識社会の再構築に向けて～(平成27年12月 答申) 抜粋

5. 速やかに検討に着手し、早期に実現を図るべき対策
- (1) **円滑かつ迅速な避難の実現**
  - (2) 的確な水防活動の推進
  - (3) 水害リスクを踏まえた土地利用の推進
  - (4) 「危機管理型ハード対策」とソフト対策の一体的・計画的な推進
  - (5) 技術研究開発の推進

中小河川等における水防災意識社会の再構築のあり方について(平成29年1月 答申) 抜粋

6. 2 実施すべき対策
- 6. 2. 1 **関係機関が連携したハード・ソフト対策の一体的な推進**
  - 6. 2. 2 **水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保**
  - 6. 2. 3 河川管理施設の効果の確実な発現
  - 6. 2. 4 関係機関と連携した適切な土地利用の促進
  - 6. 2. 5 重点化・効率化による治水対策の促進
  - 6. 2. 6 災害復旧、水防活動等に対する地方公共団体への支援

「水防災意識社会」の再構築に向けた**緊急行動計画(平成29年6月)** 抜粋

- (2) 円滑かつ迅速な避難のための取組
- ① 情報伝達、避難計画等に関する事項
  - ② **平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項**
  - ③ 円滑かつ迅速な避難に資する



**防災教育の促進**

# 緊急行動計画における防災教育の取組

○平成27年12月、平成29年1月の両答申を踏まえ、概ね5年で取り組むべき各種取組を「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画としてとりまとめ、その中で防災教育の促進が位置づけられた。

○**大規模氾濫減災協議会**において、防災教育に関する支援を実施する小中学校を教育関係者等と連携して決定し、**指導計画**（わかりやすい授業の流れやポイントを整理した計画）の**作成支援等に着手**。

※1協議会で1学校以上で実施

○**平成30年度末**までに、国の支援により作成した**指導計画**等を、都道府県管理河川を含む**協議会に関連する市町村の全ての学校に共有**する予定。



伊豆の国市立長岡南小学校における授業の様子

## スケジュール

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
				国管理河川	国・都道府県管理河川共通
28校において指導計画の作成支援を先行して実施	大規模氾濫減災協議会において、防災教育に関する支援を実施する学校を教育関係者等と連携して決定し、平成30年度末までに、防災教育に関する指導計画を作成できるよう支援  国の支援により作成された指導計画を都道府県管理河川を含む協議会に関連する市町村の全ての学校に共有		引き続き、防災教育の実施を支援		
〔学習指導要領改訂 平成29年3月31日〕	（平成29年3月31日に改訂された新学習指導要領の周知・徹底・移行期間）			（平成29年3月31日に改訂された新学習指導要領の全面实施）	

# 小学校学習指導要領等の改訂について

## 改訂の経緯と今後のスケジュール

平成29年3月 新学習指導要領の公示

平成32年度 小学校全面実施予定

## 小学校学習指導要領等の改訂のポイント

### 自然災害に関する内容が充実(「 」書きは学習指導要領より抜粋)

(小学校社会)

- ・「地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害のなどの中から、過去に県内で発生したものを選択して取り上げる」
- ・「県庁や市役所の働きなどを中心に取り上げ、防災情報の発信、避難体制の確保などの動き、自衛隊などの国の関係機関との関わりを取り上げること」
- ・「地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること」

(小学校理科)

- ・「天気、川、土地などの指導にあたっては、災害に関する基礎的な理解が図られるようにすること」

### 河川教育に関連する単元の改訂

- ・小学校理科第4学年に新単元「雨水の行方と地面の様子」が追加

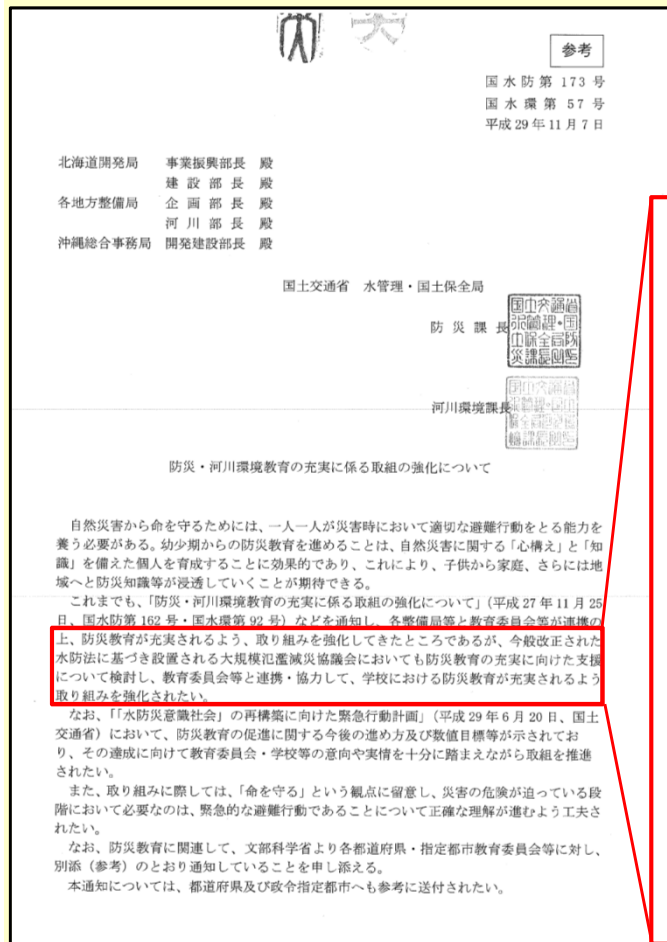
### 「主体的・対話的で深い学び」の実現やカリキュラム・マネジメントの確立

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現(アクティブラーニングの視点)や教科等横断的な学習の充実などが盛り込まれた。

# 大規模氾濫減災協議会における防災教育の取組強化

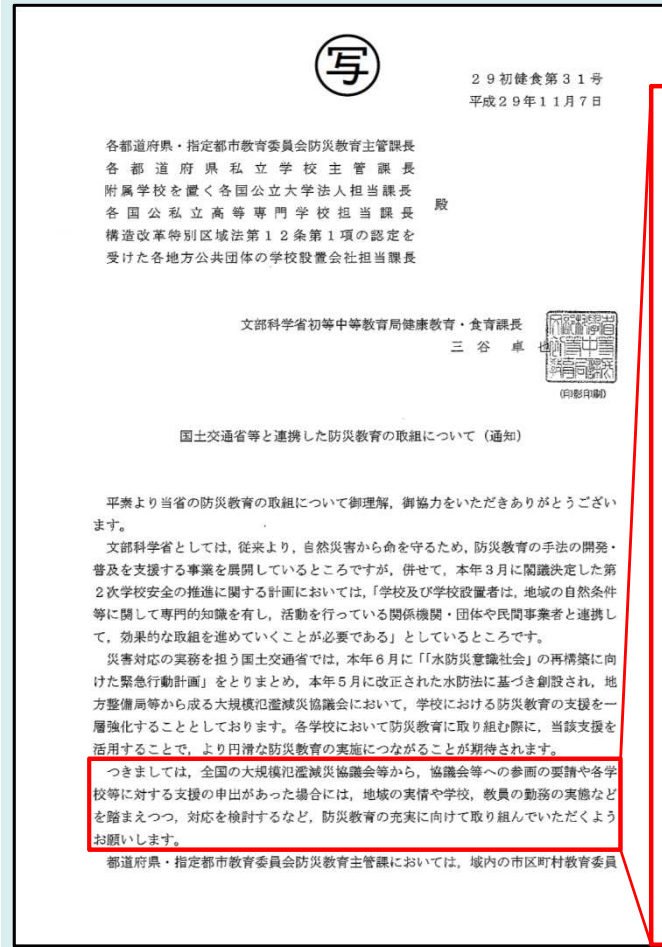
○国土交通省と文部科学省が連携し、各地方整備局等及び教育委員会等に対し、大規模氾濫減災協議会においても防災教育の充実に向けた取組強化が図られるよう通知文を发出。

■ 国土交通省水管理・国土保全局防災課長及び河川環境課長から北海道開発局、各地方整備局、沖縄総合事務局へ通知  
【国水防第173号、国水環第57号 平成29年11月7日】



改正された水防法に基づき設置される大規模氾濫減災協議会においても防災教育の充実に向けた支援について検討し、教育委員会等と連携・協力して、学校における防災教育が充実されるよう取組を強化されたい。

■ 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課長から各都道府県・指定都市教育委員会等へ通知（県教育委員会等から域内の市区町村教育委員会等にも周知）  
【29初健食第31号 平成29年11月7日】



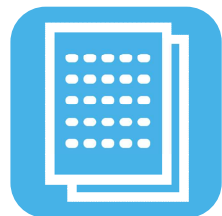
全国の大規模氾濫減災対策協議会等から、協議会等への参画の要請や各学校等に対する支援の申出があった場合には、地域の実情や学校、教員の勤務の実態などを踏まえつつ、対応を検討するなど、防災教育の充実に向けて取り組んでいただくようお願いいたします。

○多忙である先生方からは、防災教育に取り組む意欲があっても授業に活用できる情報にうまくたどり着くことが出来ないといった声があった。  
 ⇒平成30年3月、洪水や地震などから「命を守る」ための情報、コンテンツを収録したポータルサイトを開設。  
 ⇒防災教育に取り組む先生方がワンストップで教育素材等を簡単に入手できるポータルサイトとなっている。

## 掲載されている情報・コンテンツの例



**トピックス**  
最新の取組



**手引き**  
これから防災教育を始める際の進め方



**教材**  
すぐに使える教材パッケージ



**事例**  
学年別・分野別の防災教育の事例



**素材**  
伝わりやすい写真やイラスト等



**リンク**  
防災教育に役立つリンク集



子ども向け動画  
「洪水から身を守るには ~命を守るための3つのポイント~」



防災カードゲーム  
「このつぎなにながおきるかな？」

# 子ども向け動画『洪水から身を守るには』

○水害に関する防災教育のポイントを分かりやすくまとめた教材がほしいという現場からの声があった。  
 ⇒水害時の危険な状況を理解し、**命を守る**ための**知識**と**日頃の供え**を身につけてもらうための**3つのポイント**を**まとめた動画を作成**。

## 動画の構成

### 第1部 水害時の危険なシーン

水害時の危険なシーンを小学生が出演するドラマで紹介



### 第2部 命をまもるための 3つのポイント

命を守るための3つのポイントについて詳しく紹介



### 第3部 ポイントの実践

命を守るための3つのポイントを実践して、大雨の中でも無事に避難する方法を紹介



## 命を守るための3つのポイント

① どんな危険があるのかを調べてお家で話し合おう!



水害時にどうすれば良いか家族で話し合っているシーン

② 浸水がはじまるまえに逃げよう!



水位、今後の雨の降り方などの情報をPCやテレビから取得し、情報を見て判断する方法を解説

③ 安全に逃げる方法をしておこう!



足下が見えない中歩くと、マンホールや水路に気づかず落ちてしまうことがあるよ!

浸水した水の中を歩くことの危険性について、イラストを用いて解説

# 防災カードゲームを用いた防災教育

- 防災教育の敷居を下げて、取組を始めるきっかけづくりが大切だとの現場の声があった。
- ⇒子供たちが遊びながら防災について学ぶことができるカードゲーム「このつぎなにがおきるかな？」を作成。
- ⇒防災教育ポータルからダウンロードし、はがき大、名刺大の用紙に簡単に印刷が可能。



防災カードゲームの活用の様子

## 【児童のコメント】

- ・話を聞くだけよりも面白かった。
- ・洪水が家の2階まで押し寄せてくることがあるのを知り、避難する方法を考えようと思った。



- 【Q】なぜイラストで表現するの？  
 【A】災害時の危険な状況を、子供たちに「わかりやすく」「怖がらずに」理解してもらうためにイラストにしました。

- 【Q】なぜカードゲームにしたの？  
 【A】遊んでいるうちに、防災の知識が身につきます。休み時間にも使ってください！

すいがい 2 A B C D

そと ドアの外に

すいがい 2 A B C D

センチみず 30cm 水がたまると、

すいがい 2 A B C D

ひら ドアが開かなくなってしまうよ！

すいがい 2 A B C D

そと ドアの外に、  
センチみず 30cm 水がたまると、  
ひら ドアが開かなくなってしまうよ！

⚠ そうならないために、

いん ちゅう みず つ へん  
家の周りが水に浸かる前に  
あんぜん ばしょ に  
安全な場所に逃げよう！

「すいがい2」のカードセット  
 水圧でドアが開かなくなる危険性を解説している例



学校へのインセンティブ付与の仕組みづくり

- 全国の小学校を対象として、防災教育のさらなる支援拡大のため、**防災教育の先進校**における**モチベーションの向上**や**取組の拡大**に向けた**インセンティブ付与**に資する**仕組みづくり**について検討。

防災教育による効果事例の収集

- 子どもの成長や**地域への波及効果**など、**防災教育**によって**効果が現れた事例**について**収集**し、首長や学校教員に対する取組の動機付けとなるよう働きかけを実施。

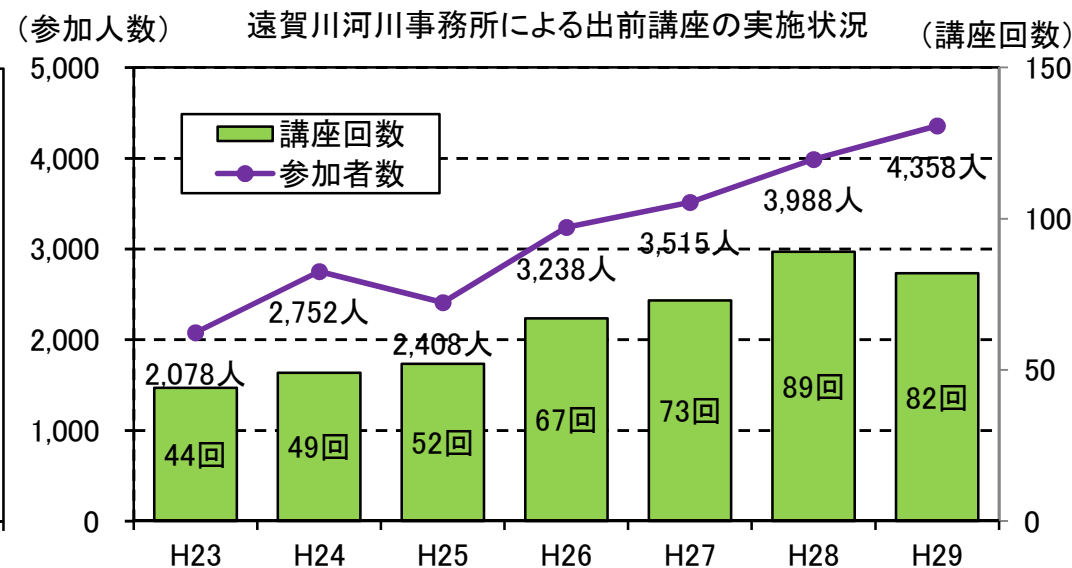
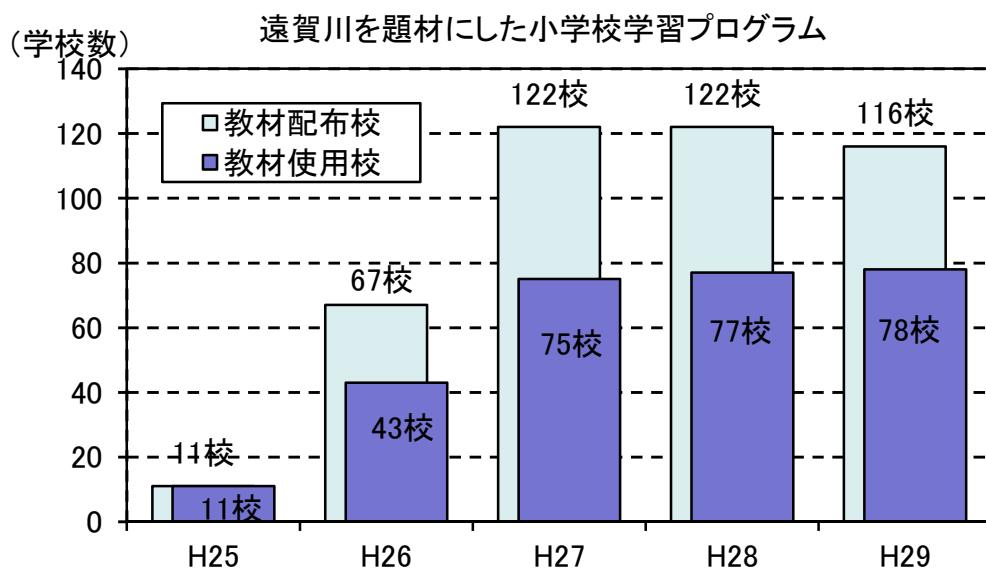
各地方整備局等におけるシンポジウムの開催

- 各地方整備局等において防災教育に関するシンポジウムを開催し、**地域や学校関係者へ防災教育の必要性**について**浸透**させるとともに、モデルとなる**先進事例を共有**することで、**他地域へ取組を拡大**。

第二回 防災・減災シンポジウム in くまもと (平成29年3月)



- 遠賀川河川事務所では、遠賀川を題材にした小学5年の社会科(自然災害とともに生きる)、理科(流れる水のはたらき)の教材を教育委員会や小学校の協力を得て作成し、流域内へ普及。
- また、小中学校や自治会等からの要請により、生物調査や水質調査、流水実験等の出前講座を住民団体や自治体と連携して実施。



■ 先生による授業  
(社会科: 自然災害とともに生きる)



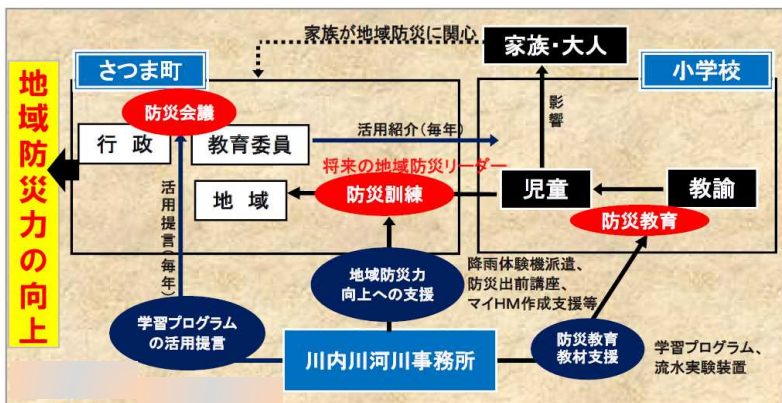
■ 先生による授業  
(理科: 流れる水の働き)



■ 出前講座  
(総合学習: 環境)



- 川内川河川事務所においては、自治体や教育委員会、学校等の協力を得て、自ら判断して避難することができる人材育成を目的とした水防災河川学習を小学校において推進中。
- 平成24年度からさつま町において「水防災河川学習プログラム」の開発を進め、平成26年度から町内の全小学校(9校)で本プログラムを用いた教育課程に基づく授業を開始。
- 平成28年度から薩摩川内市においても取組を拡大。平成29年度に薩摩川内市版の「水防災河川学習プログラム」を作成。平成30年度から市内の小学校(8校)で教育課程に基づく授業を開始予定。



小学校5年生理科  
「流れる水のはたらき」の授業の様子  
(平成25年10月さつま町立盈進小学校)



小学校5年生理科  
「台風と天気の変化」の授業の様子  
(平成28年10月薩摩川内市立東郷小学校)



小学校5年生社会科「自然災害を防ぐ」の授業の様子 (平成29年2月さつま町立盈進小学校)

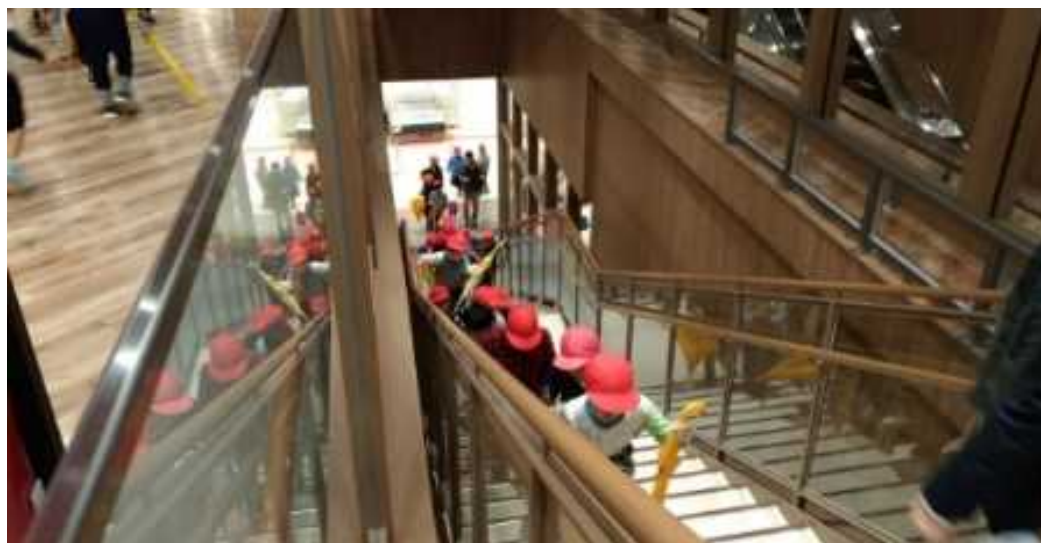
# 【参考】防災教育支援の取組事例－避難訓練の時間の活用

○避難訓練の時間を活用した防災教育について支援しており、避難訓練と教科等で学ぶ内容をリンクさせ、水害に関する防災教育の体系的な展開を目指している。

## 愛知県豊田市立元城小学校の事例



パネルを用いた、避難訓練前の事前指導



近隣のショッピングセンターの屋上へ避難

# 【参考】防災教育支援の取組事例ーイラストを活用した防災教育

○子供が怖がらずに災害時の危険な状況を学ぶことができるイラスト集を作成、学校に提供し、防災朝会における子供たちへの指導に活用。

## 東京都町田市立鶴川第二小学校の事例

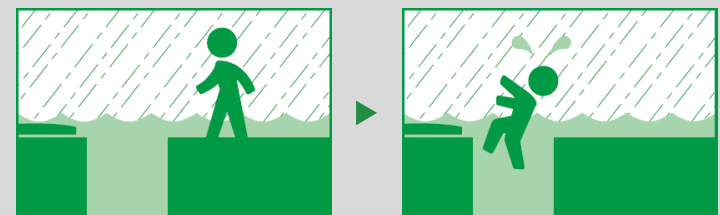


全校児童約560名を対象にした「防災朝会」

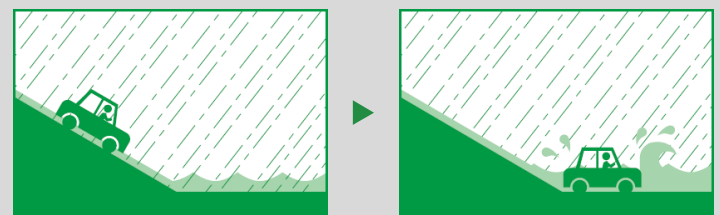
【子供たちにも分かりやすいイラストを作成】



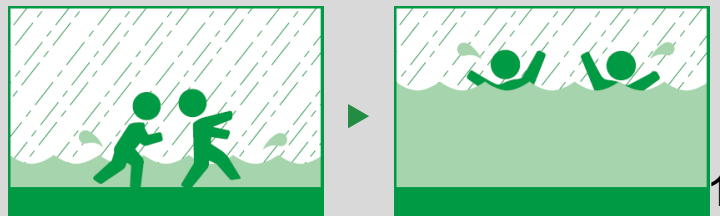
ドアの外に30cm水がたまると、ドアが開かなくなってしまうよ！  
⇒家の周りが水に浸かる前に安全な場所に逃げよう！



足下が見えない中歩くと、マンホールや水路に気づかず落ちてしまうことがあるよ！  
⇒家の周りが水に浸かる前に安全な場所に逃げよう！



深い水たまりの中では車が走れなくなってしまうよ！  
⇒道路の水たまりには入らず引き返そう！



水がひざままでの深さになると、歩くのが難しくなってしまうよ！  
⇒家の周りが水に浸かる前に安全な場所に逃げよう！